

砂原岳 山行 記録

実施日 令和2（2020）年9月6日（日）

参加者 澤田（CL）

A班：門馬（L）、西田夫妻、近藤、及川、笹山、長沼

B班：宇田（L）、小山内、山岸、太田、酒井、栗山、八重樫、増川

行程

5:30 伊達出発→7:30 登山口→7:55 登山開始→9:20 円山分岐→11:20 岩場→12:20 山頂→岩場の基部で昼食→15:40 登山口→19:20 伊達

登山に関して

- ・ふわふわのコケじゅうたん、そっと触ったら気持ちよかったな。
- ・山頂付近は風と濃雨。霧で視界は悪いし、さらに、メガネは水滴で曇るし。
- ・岩場。既設のロープは劣化が激しく頼りにならず。お助けロープを設置し、皆の安全を図った。



登山中の出来事

1) とにかく周りが黙って観てられない近藤さん

- ・M氏曰く：【近藤さん、モモが張ってきたからって、アンメルツヨコヨコをズボンの上から塗りたくるのは効果無いよ。それに、塗っている所はフクラハギよ】
- ・S氏とM氏、近藤さんの腰回りに手を回し、何やら怪しい動き。ア、ハーネスがズリ下がってきたのね。一句『腹肉にハーネス食い込む秋の山』チャンチャン



2) 鐵の女^{ひと}

- ・私は頂上に立つのだと宣言し、頂上に立った。スゴッだけでも、近藤氏には、女神のごとく。
- ・当会は、女性あつての山岳会です（今更ですが）。

3) すすきの中で

- ・分岐からすすきの中での会話。『こんなの大平山に比べたら、鼻の一息よ』。『俺は、ハイマツの臭いをかぐとホットするのだ。なぜなら、生まれがハイマツなのだ』等々。



4) その他（特異事項）

- ・風の声、ヒュー^フヒュルリ。ヒュルリとは越冬つばめの歌で森昌子。つばめは渡り鳥で東南アジアで越冬するけど、一部は九州でも越冬するんだって。越冬場所？そんな愚事はいいのよ。森昌子は『切ない恋心』を歌っているのよ。(怒) わかった！！



・濁川温泉、『ふれあいの里』通り過ぎたと思いUターンし、よく見たら閉鎖。代替えで天湯へ。

・リーダー曰く『次は駒ヶ岳だ』皆さん来年山頂で会いましょう。

・強風ではなかったが、霧雨の中、安全に行動できました。ありがとうございました。

記 長沼